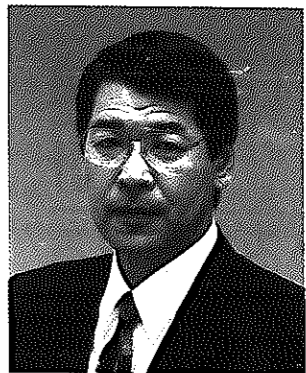




# 白南中学校建設工事の入札に関して



白根市長 吉沢 真澄

多くの市民の皆さまから、白南中学校建設工事の入札に関してご意見等をいただきありがとうございます。

市政の主役・主体は市民の皆さまです。市民の皆さまから、税金の使われ方や土地の利用、建物の建設がどのように進められるかなど、もっと積極的に市政に関わっていただき、よりよい白根市建設のためにご意見やご提言をいただければと思っています。

さて、白南中学校建設工事についての今までの経過とこれからの方針をお知らせいたします。

●経過について  
平成15年4月開校予定の白南中学校を建設するため、市は7月23日に工事契約の承認を求める議案を、臨時市議会に提案しました。しかし、落札した企業体(3業者で構成)の中の構成業者2社について、技術者(1級建築士)の雇用の仕方に問題があるという理由で否決となりました。

市では、入札参加資格を関係書類で適正に審査し、技術者の配置についても雇用保険の加入状況などを確認の上で、引き続き雇用が見込まれるものと認め、12企業体すべてを適格業者として入札に参加させましたが、特に問題はないものと考えております。

●今後の方針について  
議会制民主主義の下で、いわゆる多数決により「否決」という結果が出されたわけですので、これに従い、改めて入札(再入札)をしなければなりません。この再入札について次のような方法が考えられます。

1. 「否決になった企業体を除いて、残りの業者で入札をする方法」  
これは、業者に法律違反などの明らかな問題がない以上、指名からはまず理由はなく、この業者だけを除くことは不公平であると考えます。

2. 「前と同じ業者で入札をやり直す方法」  
いったん議会で否決された方法は、採るべきではないと考えます。
3. 「問題となった1級建築士の条件をはずし、参加業者を多くして入札を行う方法」  
市がよりよい工事をお願いしたいという思いで付けた条件を削除することは、市民の財産形成の上でマイナスであり、かつ、市政に一貫性がないことになります。
4. 「条件を緩和せず、全く新たな業者で入札をやり直す方法」  
上記1～3の問題をクリアしますが、地元業者が入札参加できなくなります。

議会が否決となって以降、さまざまなご意見が寄せられています。市政を進める上で一番大切なことは「透明性と公平性の確保」、言い換えれば「だれもが分かりやすい市政」であることだと思いますし、それでこそ「市政に対する信頼性」が保たれるものだと信じています。

さまざまな問題をクリアするため、私は前述した方法の中から4. 「条件を緩和せず、全く新たな業者で入札をやり直す方法」を選ぶことにしました。

議会運営委員会から「再入札にあたっては、本市のいままでの発注形態である地域性・信頼性を尊重した業者の参入を考慮され、執行されたい。(原文のまま)」との要請がありましたが、先の入札では、これら「地域・地元企業の保護・育成」を考慮して行った上で否決となったものであり、再入札を行うに当たっては「市政の透明性と公平性の確保、市政の信頼性の堅持」が何よりも優先されるべきものと考え、この決断をしたものです。

市民の皆さまには今後とも市政全般について、引き続きご意見やご提言をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



### 10分間に24ミリの豪雨

9月15日集中豪雨  
九月十五日、午後六時三十分ころ、秋冷前線による局地的な激しい雷雨により、内水被害が発生しました。六時四十分までのわずかに十分間に二十四ミリの雨が降り、旭町、桜町などの一戸が床上浸水、十一戸が床下浸水の被害を受けました。旭町と桜町の一带は、市街地排水ポンプ場が当初自動運転で正常に稼働していましたが、途中で緊急停止し、手動運転に切り替え運転を試みたものの稼働せず、浸水被害を招く結果となりました。(その後ポンプは、当日の夜に運転できる状態になりました)  
同ポンプ場の緊急停止については、現在原因究明しているところです。被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。深くお詫言ひ申し上げます。

## 一般会計補正予算など11議案を審議

### 第6回市議会定例会

平成十三年第六回市議会定例会が、九月七日から十七日まで開かれ、提案された十一議案を審議し、全議案を可決・同意・認定しました。

#### 可決された主な議案

- 白根市公共下水道事業公下第13-104号北部中継ポンプ場建設工事請負契約の締結  
契約業者は、安達・白井特定共同企業体で、契約金額は二億八百二十一万五千円です。
- 白根市公共下水道事業公下第13-105号大通黄金中継ポンプ場建設工事請負契約の締結  
契約業者は、水倉・外川特定共同企業体で、契約金額は二億二千二百六十万円です。
- 公共施設整備事業基金条例の制定  
この条例は、公共施設の新設および、カルチャーセンターや白根学習館などの公共施設の大規模な改修に備えるため定められたものです。
- 白根市税条例一部改正  
国の緊急経済対策における税制上の特例措置創設に伴い、株式等譲渡益にかかる個人住民税の申告分離課税を改正します。これは平成十三年十月から平成十五年三月までの間に、所有期間が一年を越える上場株式等を証券会社等を通じて譲渡した場合、その譲渡所得の金額から百万円の特

別控除を行うものです。

●平成13年度白根市一般会計補正予算(第4号)  
既決の予算総額に七千五百三十八万七千円を追加し、予算総額を百二十億三千九百四十七万一千円としました。

歳出補正の主な内容として、総務費では公共施設整備事業基金への積立金計上などを行いました。

民生費は介護保険制度で介護サービス提供者である社会福祉法人や民間事業者が一定の要件に該当する介護サービス利用者の負担減免を行う場合、減免分の一部助成をする社会福祉法人等利用者負担軽減助成費を計上しました。土木費は道路施設の安全確保から施設修繕料や工事請負の追加計上などを行いました。

教育費においては、白根地区公民館の給水管改修工事費や諏訪木運動広場野球場の防球ネット増設工事費などを計上しています。

歳入補正では、歳出補正に伴い県支出金、寄付金、基金繰入金などを計上したほか、白南中学校建設事業に関する義務教育施設整備事業国庫負担金の追加計上を行いました。

●固定資産評価審査委員会委員の選任  
小林早苗さん(北田中・六十六歳)の選任について同意しました。

#### 同意された人事案件

●固定資産評価審査委員会委員の選任  
小林早苗さん(北田中・六十六歳)の選任について同意しました。

## まちの話題



### さわやかな秋空の下でコンサート

しろね音楽祭  
11おらシロネもん

九月二日、カルチャーセンター野外ステージで、しろね音楽祭「11おらシロネもん」が行われました。今年で八回目になるこの音楽祭は、白根商工会青年部(西村徹部長)がまちおこしを目的に主催しているもの。年々盛況になる中、市内外から約四十組の出演希望があり、ライブハウスで活躍しているプロアーティスト二組と、十七組のバンドが出演しました。ロックを中心に、オールディーズやフュージョンなどが演奏され、さわやかな秋空に響きわたりました。

### いつまでもお元気で

高橋まつ子さん(皐月町)を  
表 敬 訪 問



敬老の日の九月十五日、吉沢市長と新津地域福祉センターの広嶋所長が、今年百歳を迎えられた高橋まつ子さん(皐月町)を表彰訪問し、お祝状と記念品を贈りました。

高橋さんは明治三十四年九月十日生まれ。市内では四番目の長寿で、四人のお子さん、十人のお孫さん、そして九人のひ孫さんがいます。お祝状と記念品が手渡された高橋さんは「ありがとうございます」と手を合わせ、笑顔で受け取られました。健康に気を付けて、いつまでもお元気でいてください。